

# 日本内分泌病理学会

## 理事会 議事録

日 時： 2006年5月20日（土） 7:30～9:00  
会 場： 神戸国際会議場 4階 会議室406  
出 席： 長村 義之理事長、井上 金治、小澤 安則、笹野 公伸、  
佐野 壽昭、高見 博、寺本 明、成瀬 光栄、吉本 勝彦の各理事  
相羽 元彦、高野 加寿恵の各監事  
欠 席： 覚道 健一理事  
事務局： 寒川、岸  
議 題：

### <報告事項>

1. 2005年学術集会について
2. 2006年学術集会について
3. 2007年学術集会について
4. EPS (Atlanta) について
5. ホームページの開設について
6. 会費納入状況について
7. その他

### <審議事項>

1. 日本内分泌学会プログラムについて
2. EPS との連携関係のあり方について
3. 国内外関連学会への参加について
4. 会員増加の方策について
5. その他

### <その他>

税務監査の報告

冒頭、長村理事長より、理事現在数の3分の2以上の出席があるので、理事会は成立するとの報告があり、引き続き同理事長の司会により予定された議題および追加議題について討議が行われた。

### <報告事項>

#### 1. 2005年学術集会について

- ・欠席の覚道理事に代わって、佐野理事より、2005年10月26～27日に甲状腺外科学会と合同で神戸オリエンタルホテルにおいて開催されたこと、また発表内容については2004年の分と合わせて「ホルモンと臨床」の特集号に掲載されることが報告された。

## 2. 2006 年学術集会について

- ・寺本会長より、第 10 回学術集会は 11 月 3 (金) ~4 日 (土) に日本医科大学の橘桜会館で開催されること、スローガン、シンポジウム、案内および演題募集についてはホームページに掲載したことが報告された。
- ・参加費については、学生 (要 証明書) は無料とし、院生についても何らかの割引措置を考えたいとの意向が示された。

## 3. 2007 年学術集会について

- ・佐野理事より、第 11 回は上條会長のもとで 2007 年 10 月 19 (金) ~20 日 (土) に札幌で開催されるとの予告が行われた。また、国際下垂体病理学会が 2007 年 9 月 28 ~30 日にミラノで行われる予定との紹介があった。

## 4. EPS (Atlanta) について

- ・長村理事長より、加藤会長のもとで 2 月 12 日にシンポジウムが開催され、臓器別にセッションが行われたことが報告された。

## 5. ホームページの開設について

- ・寺本理事から、ホームページが開設されたとの報告があり、今後第 11 回の学術集会案内、入会申込書等を掲載するとともに更新日を記入するとの考えが示された。また、記事掲載・更新は同理事宛に申し込むことが要望された。なお、本ホームページは日本内分泌学会のホームページからリンクしている。

## 6. 会費納入状況 (と増加方策) について

- ・事務局より、会費請求は 6 月中に行うこと、また納入率が通常低いので督促を 2 回行う予定であることが報告された。
- ・学術集会時にも徴収することを試みる。

## 7. その他

- ・長村理事長より、次回の理事会は 11 月 3 日 (金) 昼に行われるとの予告があった。

### <審議事項>

#### 1. 第 80 回 (2007 年) 日本内分泌学会プログラムについて

- ・佐野理事より、加藤プログラム委員から 3 件の提案が採択されたとの連絡を受けたことが報告された。しかし、プログラム具体案を見ると臓器に偏りがあること、CPC も組まれていないことから、早急 (1 週間以内) に追加プログラム具体案を佐野理事に集約し、加藤委員を通じて学術総会事務局へ伝えることが確認された。

#### 2. EPS との連携関係のあり方について

- ・長村理事長より、EPS から寄付の依頼があり、会長が加藤先生であったことも考慮

して 1,000 ドルの拠出を持ちまわり理事会に諮り承認を得たとの説明があった。また、今回は特別措置であったことも付け加えられた。

[事後記載:5月31日に事務局より EPS 宛に分担金の名目で 1,000 ドルの送金を完了した。]

- ・通常支払っているメンバーシップは、学会運営よりも Endocrine Pathology の購読料に充当されているとの説明があった。

### 3. 国内外関連学会への参加について

- ・佐野理事より、日本内分泌学会会期中に内分泌病理学会のコンパニオンミーティング（夕方～夜、1時間半）を開催してはどうかとの提案が行われた。

### 4. 会員増加の方策について

- ・若手や基礎の研究者を取り込む方策を提案することが要望された。とりあえず、入会申込書をホームページに掲載すること（前述）、学会参加費や会費の割引（同）等を試みる。
- ・事務局より、現在の会員数は実質約 160 名であり、年 2～3 名の増加であることが報告された。

### 5. その他

- ・佐野理事より、本年は役員改選（半数改選）にあたっているとのアナウンスがあり、7～8 月に選挙を予定していること、また半数の継続理事については取り決めを確認のうえ改めて連絡することが述べられた。

### <その他>

#### 税務監査の報告

- ・中村事務局長より、日本内分泌学会が受けた税務監査の内容と京都左京税務署からの指導事項について説明が行われた。
- ・当分科会学術集会の未納源泉税が 11,111 円あり、日本内分泌学会理事会において当分科会と日本内分泌学会が半々負担することになったとの報告が行われた。当理事会も半額負担を了承した。
- ・学術集会時の税務処理について疑問があれば、同事務局長宛に問い合わせることが伝達された。

以上

（記録：事務局 岸、理事長・庶務理事承認）